

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【10,622】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
在日アフリカ人共生・協働事業 (津山)	「アフリカンキッズクラブ」では、自分のヘアを知ろう！ バレンタインデー、ママ会など 10 回のイベントをオンラインで実施した。楽しみながら交流し、経験・知識、悩みを共有した。イベント後も継続して情報交換を行った。ウェブサイトや SNS での情報発信も行った。	2021/4/1 ~ 2022/3/31	東京 オンライン	13	アフリカにルーツを持つ子ども・保護者、関心のある市民	500	461
	「アフリカンキッズクラブ東海」では、東山動物園への遠足を実施した。「アフリカンキッズクラブ関西」が 8 月に発足し、東海と関西が合同で「ハロウィンパーティー」を企画し、オンラインで実施した。関西、東海でのネットワークづくり、情報交換も積極的に行った。	2021/4/1 ~ 2022/3/31	東海地区 関西地区 オンライン	10	アフリカにルーツを持つ子ども・保護者、関心のある市民	150	
	「アフリカニュースミートアップ」では、オンラインでのイベント、他団体と協力してのセミナー、大学でのゲスト講義、SNS での発信、映像制作などを行い、経験や思い、社会課題を共有した。キッズや保護者との協力・交流、70 代のブラックミックスの方たちとの交流など、世代を超えたつながりも作った。	2021/4/1 ~ 2022/3/31	東京 オンライン	12	アフリカにルーツを持つユース、関心のある市民	700	
	在日アフリカ人コミュニティと連携・協力し、オンラインセミナーやイベントなどを行い、アフリカ理解の促進、交流を広げた。また、在日アフリカ人のニーズに応え、情報提供や情報交換を行った。	2021/4/1 ~ 2022/3/31	東京 オンライン	6	在日アフリカ人、関心のある市民	300	
	移住連やなんみんフォーラム等と連携を取り、生活に困難を抱える難民・移民への支援、人権擁護や政策提言、他団体へのアフリカに関する情報提供等を行った。	2021/4/1 ~ 2022/3/31	東京、各居住地 オンライン	6	在日アフリカ人、関連する市民団体	120	
ネットワーク形成事業 (事務局)	GII/IDI 懇談会 NGO 連絡会代表を務め政府と NGO の対話を促進した。COVID19 に関するグローバルな政策の最新情報を取り扱う意見交換会を毎月開催し、トピックを絞った勉強会を 10 回開催した。	GII は隔月、 意見交換会 は毎月	東京 オンライン	3	国際保健に関わる市民団体、専門家等	20 人 × 6 回、 25 人 × 12 回、 20 人 × 10 回	585
	TICAD8 に向けて、外務省、UNDP からの連絡窓口を務め、閣僚会合とマルチセクター合会に関する情報提供を行った。アフリカの市民団体への情報提供と UNDP との調整を行った。マルチセクター合会に参加し日本市民団体の代表として総括発言を行った。	会 合 開 催 日：3/21	東京 オンライン	4	日本及びグローバルなアフリカ政策に関心のある市民・団体	20	
	「アフリカで活動する日本の NGO/NPO ダイレクトリー」に関して、掲載団体の連絡を受け、ウェブサイトの情報アップデートを行った。	2021/4/1 ~ 2022/3/31	東京 オンライン	2	ウェブサイト訪問者	1500	
	AJF 交流会に関して、9 月にブルンジと南アフリカからの留学生と交流し、12 月には斉藤龍一郎さんの追悼とともに関心のある分野ごとの意見交換	9/9 12/21	東京 オンライン	2	アフリカに関心のある市民	50	

	を行った。						
アフリカ 調査・ 研究事業 (事務局)	アフリカにおける日本の保健分野援助についての評価を行う調査の計画を立案した。アフリカ側市民社会の協力を依頼し調査内容の確認等を開始した。	2022/1/5 ~ 2022/3/31	東京 オンライン	3	アフリカの 保健援助に 関わる市 民・団体	50	2544
	「グローバル・エイズ・アップデート・プラス」に関して、コーディネーターのインターン、翻訳ボランティアとともに毎月第一水曜日にメルマガの発行を行った。また、毎月2本のペースで COVID19 とはじめてとする国際保健に関わる最新情報をブログで提供した。	2021/4/1 ~ 2022/3/31 (毎水曜)	東京 オンライン	11	国際保健に 関心のある メルマガ登 録者	324	
	特に脆弱な状況にある人々における UHC の進捗状況について当事者団体の協力の下に調査を行い発表した結果、国内外で大きな反響があった。また、当事者団体と連携して、コロナを経験した LGBT のインタビュー調査も行った。	2021/4/1 ~ 2022/3/31	東京 オンライン	5	コロナ禍に おける医療 アクセスに 関心のある 市民	300	
	UHC2030 の先進国市民社会代表運営委員を務め、他の市民社会代表運営委員とともに、UHC2030 の運営における市民社会の影響力を強化した。また、UHC2030 の事業での当事者参加の拡大に努めた。	4/1~3/31	東京 オンライン	2	UHC、国際 保健に関心 のある市民	300	
	「世界食料デー」月間の準備、学習会等により食と農に関する情報交換を行った。	4/1~3/31	東京 オンライン	2	「世界食料 デー」月間 関係者	50	
	他団体／機関と協力し、世界食料デー月の 10 月に 2 回のイベントを開催した。	10/1 10/15	東京 オンライン	2	持続可能な 食に関心 のある市民	120	
	月に 1 度、「FAO の資料を読む学習会」を開催し翻訳した資料をウェブサイトで公開した。	4/1~3/31	東京 オンライン	2	アフリカ等 の食料状況 に関心 のある市民	1500	
	熱帯林・ヨウム保全セミナー『コロナ禍で密猟は増えたのか減ったのか、森林は保全されてきたのか否か？～ヨウムやマルミミゾウなどコンゴ共和国の事例より』（ウェビナー）を実施した。ヨウム保全普及チラシを配布し、アフリカ熱帯林および野生生物保全に関する記事を紹介した。	4/1~3/31 イベント: 12/17	東京 オンライン	3	野生生物や ヨウム、そ の環境保全 に関心 のある市民	200	
政策提言 事業 (事務局)	西サハラに関連する情報収集／交換を行い、西サハラ友の会と協力し、西サハラの現状に関するウェビナーを 2 回開催した。TICAD における西サハラ問題の取り扱いについて検討した。	4/1~3/31	東京 オンライン	3	西サハラの 状況に関心 のある市民	200	6321
	「新型コロナに対する公正な医療アクセスをすべての人に！」連絡会事務局として活動し、最新情報のフォローに努めるとともに重要な情報についてはブログ等を通して発信した。日本政府と複数回会合を行い、要請書を提出した。5 回のウェビナーの開催、関連資料の翻訳・講演を行った。	4/1~3/31	東京 オンライン	3	コロナに関 わる公正な 医療アクセ スに関心 のある市民	500	

	グローバルファンド（世界エイズ・結核・マラリア対策基金）に関し、各国の在京大使館と会合し、増資会合に向けた情報交換を行った。日本政府の新グローバルヘルス戦略策定に関わり、国際保健の優先順位向上を提唱。ウェビナーの開催を通じて海外市民社会と日本政府の対話の機会を作った。	4/1～3/31	東京 オンライン	3	国際保健、感染症に関心のある市民、影響を受ける市民	300	
アフリカ 理解促進	会報『アフリカNOW』117号、118号、119号を冊子とPDFファイルで発行。ホームページで最新号とバックナンバーを紹介し、会員以外にも販売した。	4/1～3/31 発行日：9/30, 12/15, 3/31	東京 オンライン	6	会員およびアフリカに関心のある市民・団体	300	398
	ウェブサイトを更新し、AJF の活動とイベントなどを紹介するとともに、多様な情報や資料などを提供した。	4/1～3/31	東京 オンライン	3	アフリカに関心のある市民・団体	7000/月	
	AJF 交流会を会員に限定しない交流会として開催した。	「ネットワーク」の交流会参照					
	「新型コロナに対する公正な医療アクセスをすべての人に！連絡会」の事務局を務め、同連絡会として第3回～第7回までの5回のウェビナーを開催した。UHC については、日本国内のUHC の状況についてのウェビナーをジョイセフと共催したほか、UHC2030 の市民社会参画メカニズム（CSEM）メンバーとして国内・海外双方向のウェビナーなどの発信を行った。	4/1～3/31	東京 オンライン	5	ウェビナー参加者等	500	
	メールマガジン「AFRICA ON LINE」について、2名のボランティアスタッフの力を借り、正月3が日を除く毎週発行を達成した。レシピ紹介や書籍紹介を新たにコンテンツに加えた。	4/1～3/31	オンライン	3	メルマガ購読者	各回2000	
	2021年10月に対面とオンラインで2年ぶりに開催されたグローバルフェスタ JAPAN2021 に対面でブース出展をした。	2021 年 10月 9 日～10日	東京 オンライン	4	グローバルフェスタ参加者	10,000	
	アフリカに関する日本語のメディア記事および jeune afrique の記事を、インターン・ボランティアの方々の協力の下で収集・アーカイブ化した。アーカイブは立命館大学生存学研究所の協力の下、同研究所のウェブサイト(arsvi.com/)を利用した。また国際保健やアフリカ・日本間交流を中心に、重要なトピックについての分析と結果を、毎月1度 ML にて発信した。	4/1～3/31	東京 オンライン	7	アフリカのニュース情報に関心のある市民	300	
アフリカ 支援事業	会報『アフリカNOW』で、モザンビークのプロサバンナ事業とその後に現地の農民団体にインタビューを実施したり、国際保健部門では UHC や新型コロナに関するウェビナーで、ガーナや南アフリカで活動する市民団体に登壇を依頼し、現地からの情報提供を行った。	4/1～3/31	東京 オンライン	5	会報読者およびウェビナー参加者等	500	50

事業共通 263

(*1) GII/IDI : 地球規模問題イニシアティブ (GII) 及び 沖縄感染症対策イニシアティブ (IDI)に関する外務省/NGO 懇談会、(*2) UHC : ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ